令和4年11月実施 9名回収

令和4年度に実施したアンケートの結果を下記の通り報告させて頂きます。

環境・体制整備

項目	はい	どちらとも	いいえ	無記入
① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	3	0	0
② 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	2	1	0
③ 事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3	1	0

《意見》

- ①:曜日によっては、複数の指導内容が重なり利用する場所の確保に苦労することがあるが、時間で分ける 等工夫している。
- ③:古い建物を安全に利用できるよう、大変な苦労をしながら使っている(有路、鍵の位置、備品の置き方 等)
- ③: きれいに磨いていますが、バリアフリーとしては少し不安があります。

業務改善

	項目	はい	どちらとも	いいえ	無記入	
4	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標設定と	5		3	0	1
	振り返り)に、広く職員が参画しているか	ס	3	0	I I	
5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査					
	を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につ	8	1	0	0	
	なげているか					
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ	4	3	0	0	2
	等で公開しているか	4	3	O	2	
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善					
	につなげているか	4	2	0	3	
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保					
	しているか	9	0	0	0	

《意見》

- ③:玄関と通路の一部がバリアフリーになっているがすべてではない。車いす利用のお子さんがいた時は工 夫しながら過ごした。
- ④:業務において広く職員が参加できるように会議を行うようにしたがまだ年2回の段階。必要に応じて定 期的に行っていきたい。今後はケース会議もタイムリーに行えるよう改善したい
- ⑤:学童ねあらい便りの案が出ていたが発行には至らなかった。活動紹介を兼ねて写真をのせたり情報を発 信していきたい。

- ⑧:積極的に参加を呼び掛けているが参加する職員が限られてしまうので共通認識が持てるように報告会を 行っていく。
- ⑨:保護者と相談をして目標を設定したり計画を立てています。また、途中で目標の見直しをしています。

■ 適切な支援の提供

	項目	はい	どちらとも	いいえ	無記入
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズ や課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービ ス計画を作成しているか	7	2	0	0
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化された アセスメントツールを使用しているか	6	3	0	0
11)	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1	0	1
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	2	0	0
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに 設定して支援しているか	6	2	0	1
(14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組 み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している か	6	3	0	0
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	1	1
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2	0	1
17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、 支援の検証・改善につなげているか	8	1	0	0
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス 計画の見直しの必要性を判断しているか	5	3	0	1
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支 援を行っているか	6	1	0	2

《意見》

- ③:月2回、長期休暇関係なく行っている。課題については、その都度話題にしている。
- (6): 心配な子については、情報の共有をしている。
- ⑩: 今年度研修で取り上げられたアセスメントツールを活用していきたいと考えている。全員は難しいので気になる児、保護者から実施していく。
- ③:長期においては個別に必要な方には助言をしている。
- 16: 学習支援においても先生任せにならないように声をかけ様子確認、振り返りをしている。
- ①:毎回振り返りを行い次回の働きかけや役割分担を行っている。
- ⑪:関わってはいませんが、皆さん丁寧にやっていると思います。
- ⑪:学習支援の後に記録をしています。
- ③: 学習支援の話し合いを持ち、確認をしたり共通理解をしている。

■ 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

	項目	はい	どちらとも	いいえ	無記入
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子 どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画してい るか	6	2	0	1
21)	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子 どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、 トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	2	0	1
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れている場合は、 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	2	0	2
23)	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、 児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に 努めているか	7	1	0	1
24)	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害 福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支 援内容等の情報を提供する等しているか	3	5	0	1
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の 専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2	0	1
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子 どもと活動する機会があるか	2	5	0	2
27)	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	4	0	2
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの 発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0	0
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対し てペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	3	0	2

《意見》

28: 学習支援をしながら日頃の様子を聞き、相談にのっている。

②: 就学前の様子については、窓の担当者ねあらい職員と情報交換をしています。

26: 学童担当者と情報交換したり活動に参加したりるする機会がある。

⑩以降: やっていらっしゃると思います。

■ 保護者への説明責任

	項目	はい	どちらとも	いいえ	無記入
30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な	4	4 0	1	1
	説明を行っているか			U	'
31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応	0	1	0	0
	じ、必要な助言と支援を行っているか	8	ı	U	U
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する	5	2	0	2
	等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2	U	2

33)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	1
34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡 体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している か	5	4	0	0
35)	個人情報に十分注意しているか	9	0	0	0
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮をしているか	7	1	0	1
37)	事業所の行事に地域の住民を招待する等地域に開かれ た事業運営を行っているか	4	3	0	2

≪意見≫

- ③ : 子育ての悩みを聞いているが、支援まではできていない。
- ③:会報はないが予定表や掲示板で連絡をしている。
- ③:出来る限り傾聴し、一緒により良い方法を考えています。しかし、力不足のため適切な助言ができているかは自信がありません。

■ 非常時等の対応

	項目	はい	どちらとも	いいえ	無記入
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	2	0	1
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1	0	1
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、 適切な対応をしているか	7	1	0	1
41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2	0	2
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書 に基づく対応がされているか	6	1	0	2
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有してい るか	6	0	1	2

≪意見≫

④:決定している事があれば教えて欲しいです。

43:機会があったら見せて欲しいです。

まとめ

訓練を始めとした非常時等の対応は、学習支援スタッフに周知できていない現状があった。また、研修項目である虐待・権利擁護研修については常勤スタッフだけではなく、方デイにかかわる職員全員で受講し利用者支援の心がけとして学びを深めてくことを実践していく。